

Gikai-plus かしわ

かしわ市議会だより 令和3年第4回定例会号

12月定例会の議案をピックアップ	▶ P.2
質疑並びに一般質問	▶ P.3
令和2年度決算の注目事業	▶ P.7
議案のその後を追跡します!	▶ P.8



「議会プラスかしわ」は、「見やすく・わかりやすく・読みやすく」という3つをプラスしたいという思いを込めたロゴマークです。

太田新市長に質問集中 子育て支援・学校給食・市立柏病院など

市長選挙後、初の議会となった12月定例会。太田和美新市長の基本政策や施政運営の方針を確認する質問が集中しました。ここでは、質問の多かった項目のうち5つの分野について取り上げます。



(写真はイメージ)



柏市立柏病院



12月定例会初日の様子

市立柏病院

市立柏病院の早期建て替えについて

- 今後どのようなスケジュールで早期の建て替えを進めていくのか。
- 建て替え事業の具体的な進め方については、担当部署に指示をし、検討を開始した。基本構想に該当する「市立柏病院のあり方」は既に策定されているため、現地建て替えに向けた基本計画から策定することになる。
- 建て替え後の経営力強化はどうか。
- 病床利用率の達成は、建て替えの条件とはしないことを表明したが、病院を安定的に継続して運営していくためには病床利用率を上げ、経営力を強化し、安定した経営基盤を確立していく必要があるものと認識している。

公共交通

コミュニティバスの実現について

- 具体的な今後の計画はどうか。
- 路線バスの行き届かない地域において、交通インフラを整備し、全ての人が出かけやすいまちにするため、移動しやすい交通ネットワークの実現に向けて取り組んでいく。
- シルバーパス^{知+}の実現について
- 高齢者の外出をサポートし、運転免許証自主返納のためにも、シルバーパスの導入を早期に実現してもらいたい。
- 運転免許証自主返納者に対し、期間限定のバス、タクシーの運賃割引等を実施している事例や、シルバーパスを導入している自治体の事例を調査し、今後どのような手法で進めていくのか、議論を重ねた上で交通環境を考えていく。

学校給食

学校給食の自校方式維持について

- 自校方式を維持する方針について、今後、どのように進めていくのか。
- 学校別の詳細な調査・分析を行い、自校方式の維持について再検証を行うよう教育委員会に要請した。今後、様々な方との対話や議論を重ねて具体的な方向性を示していく。
- 学校給食センターの建て替えについて
- 学校給食センターの老朽化への対応は喫緊の課題である。建て替えをどう考えるか。
- 現在の学校給食センターは施設や整備の老朽化が著しく、不具合や故障などが発生した場合はその影響が11校にも及ぶため、建て替え事業を進めていく必要がある。

パートナーシップ

パートナーシップ制度^{知+}の導入を求める

- 県内では、千葉市、浦安市、松戸市、船橋市でパートナーシップ制度を導入している。本市でも導入してはどうか。
- 令和3年10月時点の導入自治体は130に達し、今後も増加が想定される。多様な性を尊重し、誰もが暮らしやすいまちづくりを推進するため、制度導入を進めていきたい。

気候変動

気候非常事態宣言の表明を求める

- 温暖化気候変動の現状を深刻に受け止め、気候非常事態宣言を発することを求める。
- 地球温暖化により、猛暑や豪雨災害のリスクが高まり、深刻さを大変懸念している。気候非常事態宣言は危機意識を多くの市民と共有できるため、できるだけ早い時期に行いたい。

※1面の答弁部分は、市長及び担当部長の発言を要約したものです。知+は3面から6面の下段で用語の解説をしています。1面の知+は5面に掲載しています。

柏市議会 12月定例会の 流れ

11月29日 開会 本会議

- ・市長から施政方針・市政報告の後、副市長から議案について提案説明
- ・議案第15～18号及び委員会提出議案第2号を採決(委員会付託と討論を省略)

12月6日～13日 本会議

- 22人が登壇し、議案及び市政に関する質疑並びに一般質問(3～6面参照)

12月14日・15日 委員会

- 総務・市民環境・教育民生・建設経済の4常任委員会にて議案や請願を審査

12月17日 閉会 本会議

- ・各委員長から審査の経過と結果の報告または結果のみの報告の後、討論を経て、採決(議決結果は2面参照)
- ・議案第19号について副市長から提案説明の後、委員会付託と討論を省略し、採決

令和3年第4回定例会 12月定例会の議案をPick up!



議案を採決するまでに様々な視点から審議を重ねています。今回は上下水道局の設置に関する議案をピックアップしてお知らせします。

上下水道局の設置

公営企業体としてより効率的・効果的な組織に再編し経営基盤を強化するため、下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用し、水道事業と下水道事業の組織を統合します。

統合によって見込まれる効果

- ・料金収納や給排水手続の窓口一元化
- ・広報等の啓発活動の一体的実施
- ・人員の相互補完による危機管理体制の強化
- ・企業会計や工事の推進に必要な人材の育成



水道部新庁舎

12月定例会の議案と請願の議決結果

Pick up! は上記「12月定例会の議案をPick up!」で取り上げた議案です。

※網かけ()は賛否が分かれた議案です。◎は全会一致、○は賛成多数

番号	件名	審議結果
市長提出議案		
条例の改正	1 水道事業設置条例及び職員定数条例の一部改正 Pick up!	○
条例の制定	2 上下水道事業運営審議会条例の制定 Pick up!	○
条例の改正	3 市立小学校設置条例及び市立こどもルーム条例の一部改正	◎
	4 ほのぼのプラザますお条例の一部改正	○
	5,6 手数料条例の一部改正、下水道条例の一部改正 Pick up!	○
指定管理者の指定	7 旧古田家住宅歴史公園(注)	◎
財産の取得	8 (仮称)柏北部東地区新設小学校給食用備品	◎
	9 市立小中学校情報機器(GIGAスクール用タブレット端末)	○
その他	10 訴えの提起	○
	11 一般会計	○
	12 柏都市計画事業北柏駅北口土地区画整理事業特別会計	◎
3年度補正予算	13 下水道事業会計	◎
	14 (仮称)柏北部東地区新設小学校建設工事(体育館棟)建築工事	◎
条例の改正	15 特別職職員給与条例の一部改正	○
	16 一般職職員給与条例の一部改正	○
	17 会計年度任用職員給与等条例の一部改正	○
3年度補正予算	18,19 一般会計	○
継続審査となっていた議案(令和3年9月提出)		
2年度決算	11 一般会計	○
	12,19 国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計	○
	13 公設総合卸売市場事業特別会計	◎
	14,15 介護老人保健施設事業特別会計、介護保険事業特別会計	◎
	16 柏都市計画事業北柏駅北口土地区画整理事業特別会計	◎
	17 学校給食センター事業特別会計	◎
	18 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	◎
20~22 病院事業会計、水道事業会計、下水道事業会計	◎	
委員会提出議案		
条例の改正	2 市議会議員報酬等支給条例の一部改正	○

(注) 議案第7号については、橋口幸生議員は除斥となり、表決には加っていません。

※網かけ()は賛否が分かれた請願です。◎は全会一致、○は賛成多数、×は不採択、継は継続審査

請願(新規)		
全ての子どもに行き届いた保育と教育の実現について		
46	主旨1 認可保育所を整備し入園保留者をなくしてください。	○
	主旨2 柏市の保育事業を支えてきた公立保育所を改築・改修し、なくさないでください。	継
	主旨3 感染防止対策と、子供の安全・発達保障のため、保育園、学童保育所の施設条件・職員の配置基準、待遇を抜本的に改善してください。	×
	主旨4 保育園、幼稚園、学童ルーム職員の定期的なPCR検査、抗原検査を実施し、感染拡大を防止するとともに、新型コロナウイルス感染者の自宅療養をなくし、感染家庭への支援を拡充してください。	×
	主旨5 通園・通学路の総点検を行い、ガードレール・歩道等の安全対策を実施してください。	◎
	主旨6 老朽化した市立病院を早急に建て替え、妊産婦救急治療、感染症対策病棟を設置するなど、市民の命を守ってください。	×
新型コロナウイルスワクチン未接種者への差別防止を求めることについて		
47	主旨1 先進自治体を参考に、未接種者への差別を禁止する条例を制定してください。	×
	主旨2 柏市の事業実施に当たっては、ワクチン・検査パッケージの適用を行わないでください。	○
	主旨3 教育や保育の場で、決して接種勧奨をしないよう徹底してください。	○
	主旨4 ワクチン・検査パッケージが未接種者への経済負担を強いることにならないよう、未接種者へのPCR検査助成を検討してください。	○
柏市中小企業支援給付金創設について		
48	主旨 コロナウイルスの影響で売上げが減少する中小零細事業者に対して実施されている柏市中小企業支援給付金制度を新たに創設すること。	×
国民健康保険の子供に係る均等割保険料の負担軽減を求めることについて		
49	主旨1 国民健康保険の子供に係る均等割保険料の柏市独自の軽減措置を導入してください。	×
	主旨2 県に対して、軽減措置に係る財源を求めてください。	×
	主旨3 国に対して、国民健康保険の子供に係る均等割保険料を廃止するように求めてください。	×
高齢者の補聴器購入助成とヒアリンググループ設置を求めることについて		
50	主旨1 医師が必要と判断した高齢難聴者の補聴器購入に助成補助をしてください。	×
	主旨2 特定健診項目に聴力検査を入れてください。	×
	主旨3 高齢難聴者の相談窓口(言語聴覚士による無料相談)を設置してください。	×
	主旨4 公共施設(文化会館、近隣センターほか)にヒアリンググループを拡充してください。	×
	主旨5 貸出し用の軽量のヒアリンググループと補聴器を拡充してください。	×
	主旨6 議会傍聴席にヒアリンググループを設置してください。	×

こんな質疑がありました。

市民環境委員会

Q 一般会計から企業会計へ繰り出されるお金は何に使われるのか。
A 水道事業に関しては、消火栓の設置や維持補修に関する費用に、下水道事業に関しては、雨水の処理に要する費用、汚水の処理に要する費用の中で使用料で賄いきれない部分の費用に使われる。

Q 下水道事業が土木部から上下水道局に移ったときに、下水道の普及地域は拡大するか。
A 下水道の長期的な整備の計画については、統合によって促進の方向に働けばよいと思っているが、現時点で、統合直後に計画を見直す等の予定はなく、組織の統合が直接大きな影響を及ぼすわけではない。



51	行き届いた教育を求めることについて	
	主旨1 柏市として子供たちの放射線被害にかかわる健康診断を継続してください。	◎
	主旨2 行き届いた教育を進めるために柏市独自の事故対策教員を増やしてください。	○
	主旨3 教育予算を増やし、父母負担を減らしてください。	◎
	主旨4 体育館にもエアコンを設置してください。	○
	主旨5 地域によって小中学校の教育格差が生まれないようにしてください。	◎
52	75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止について	
	主旨 75歳以上の医療費窓口負担2割化は中止するよう国に働きかけてください。	×
53	子供のマスク着用について	
	主旨1 公立私立問わず保育園・幼稚園等の幼児施設で、子供へマスク着用を求めないよう指導してください。	○
	主旨2 学校教育において、体育、登下校、校外学習の山登り等の運動時にマスクを外す指導を徹底してください。	○
	主旨3 学校教育においてマスクを外すべき気温・湿度やWBGTの基準値を定め、子供の熱中症を防ぐ指導を徹底してください。	×
	主旨4 教育・保育施設の職員、子供、保護者に、マスクを着用できない人がいること、マスク着用をしない判断も尊重すべきであり差別してはいけないことを、定期的に周知してください。	○
	主旨5 公園など子供の遊び場、スポーツ施設等に設置してあるマスク着用を促す掲示物を撤去してください。	×
請願(継続審査)		
41	自校方式の給食を守り、沼南にも広げることについて(主旨1、主旨2)	継
45	生活保護利用者へのエアコン支給等について(主旨4、主旨5)	継

各会派の賛否

○:賛成 ×:反対

賛否が分かれた上表の網かけ()の議案について、会派別に賛否を公表します。

議案番号	議決結果	合計		柏清風	公明党	日本共産党	市民サイドネット	みらい民主かわ	無所属A	無所属B	無所属C	無所属D	無所属E
		賛成	反対										
市長提出	1,2,5,6	可決	28	6	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	4	可決	31	3	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	9	可決	33	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	可決	26	8	○	○	×	×	○	○	○	○	×
	11	可決	31	3	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	15	可決	33	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	16	可決	23	11	○	○	×	×	○	×	×	○	×
継続審査	17	可決	22	12	○	○	×	×	×	×	○	○	×
	18,19	可決	33	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	11	認定	26	8	○	○	×	×	○	○	○	○	×
委員会提出	12,19	認定	28	6	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	2	可決	33	1	○	○	○	○	○	×	○	○	○
請願46-1、47-4、51-2・4		採択	33	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○
請願46-3・4-6、48、49-1~3		不採択	13	21	×	×	○	○	○	×	○	○	○
請願47-1		不採択	11	23	×	×	○	○	○	×	×	×	○
請願47-2、53-2		採択	27	7	○	○	×	○	○	○	×	○	×
請願47-3、53-1		採択	32	2	○	○	○	○	○	○	×	○	×
請願50-1~6		不採択	14	20	×	×	○	○	○	○	○	○	○
請願52		不採択	12	22	×	×	○	○	○	×	×	○	○
請願53-3		不採択	12	22	×	×	○	○	○	○	○	○	×
請願53-4		採択	33	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×
請願53-5		不採択	5	29	×	×	×	○	○	×	×	○	×

※反対には態度保留・継続等を主張し、賛成でない立場も含みます。議長は表決には加っていません。



議員個人の賛否はこちら(議案)



(請願)

会派名簿

- は会派代表(令和3年12月17日現在)
- 【柏清風】阿比留義顯/石井昭一/後藤浩一郎(副議長)/坂巻重男/桜田慎太郎/佐藤 浩/助川忠弘/円谷憲人/浜田智香子/日暮栄治/福元 愛/古川隆史/村越 誠/山田一一
- 【公明党】小川百合子/小松幸子/田中 晋(議長)/塚本竜太郎/中島 俊/橋口幸生/林 伸司
- 【日本共産党】日下みや子/平野光一/武藤美津江/矢澤英雄/○渡部和子
- 【市民サイド・ネット】林 紗絵子/○松本寛道
- 【みらい民主かわ】○岡田智佳/鈴木清丞
- 【無所属A】内田博紀 【無所属B】大橋昌信 【無所属C】上橋 泉 【無所属D】北村和之 【無所属E】末永康文

質疑並びに一般質問

各議員の氏名の右にあるQRコードを読み取ると、その議員の議会での録画映像を御視聴になれます(公開期間は4年間)。

12月定例会は、市長選挙後の初議会となりました。招集日に市長より施政方針が示され、6日間にわたり22人の議員が市の政策について提言し、課題や市政運営等についていただきました。ここでは、その一部をお知らせします。※この記事は各議員が要約して執筆しています。

柏清風

つむらや のりひと
円谷 憲人



ホームタウン規制緩和 本市とレイソルへの影響は

Q Jリーグが発表したホームタウンの規制緩和について、衝撃を持って受け止めているサポーターは多い。特にクラブが広域的な活動にシフトすることで、クラブとホームタウンの関係が希薄になることが懸念されているが、本市とレイソルへの影響は。

A そういった懸念の声があることは理解しており、今後の動向を注視したい。一方で、チームの広域的な活動をきっかけに、近隣自治体との連携や、新たに本市の活力、魅力をアピールする機会にもなる。全国のホームタウンとなっている自治体とも情報共有しながら、チーム側とはより関係性を深め、さらなる地域の発展に向けた連携を進めていく。

Q 今季、苦しいシーズンの中で一生懸命応援する方がたくさんいた。市民にとってレイソルは大きな存在だと再認識した。より信頼関係を深めてほしいと思うが、見解は。

A コロナ明けに向けていろいろなアイデアを出しながら進めていきたいし、株式会社柏レイソルと本市の関係を非常に大事にしていきたいという気持ちを担当部署も確認できたので、しっかりと連携強

化をしてまいりたい。

TX沿線地区 交通危険箇所の総点検を

Q つくばエクスプレス沿線の地域では、人口増に伴う通行量の増加、道路の新設、複数の工業団地が立地していることなどにより、以前とは交通事情が変化している。危険箇所を洗い出し、優先順位を持って対策を講じていくべきだと考えるが、市の対策は。

A 御指摘のとおり、徐々に道路整備やまちづくりが行われ、日々交通事情が変わってきている。今後、危険箇所が移り変わることが予想されるので、職員によるふだんからの道路パトロールや、学校や地元の声に耳を傾けることで危険箇所を認識し、問題解決に取り組みたい。その上で優先順位が高い事案から順次、予算を確保し、道路の安全対策に努めていく。



人口増となっているつくばエクスプレス沿線

柏清風

むらこし まこと
村越 誠



農業振興・地域振興

Q 農業担い手確保・魅力ある農業にするための方策が求められている。対応は。

A 担い手の確保、育成、生産性の向上、消費の拡大を軸に一体的に取り組み、所得向上を図り、持続可能な農業に努める。

Q 道の駅しようなんの運営体制強化や農家主体の運営をどう進めていくのか。

A 出荷農業者との意見交換の場を求め、農業者と一体となった農産物直売所の運営を促し、新たに一層の農業振興、地域振興が図られるよう努める。

市民生活の向上―踏切・道路問題、不法投棄問題、柏市公園の管理運営向上―

Q 高柳近隣センター脇の踏切は、一部の踏切装置が歩道を狭くしているために、車が通過できないことと併せて、歩行者の行き来ができない。周りの道が抜け道化している状態である。今後の政策は。

A 当該道路箇所に集中している車両を分散させるために周辺道路を整備することが有効である。踏切部分の歩行者対策は、路面標示による安全対策を考える。

Q 不法投棄問題の現状と防止策は。

A 不法投棄禁止看板及び立入禁止テープを設置し、監視パトロールを継続している。産業廃棄物処理事業振興財団(知+)に相談した。管理不全土地管理命令制度の

情報収集・改善策を検討していく。未然防止対策として監視パトロールや防止看板の設置なども引き続き講じていく。

Q 手賀の丘公園の立地条件から今後の魅力ある公園運営、整備の説明を伺う。

A 保全と活用のバランスを考慮し、魅力向上を図り、手賀沼周辺の地域活性化につながる公園の運営、整備に努める。



手賀の丘公園 (どんぶりの家)

教育行政

Q GIGAスクール構想(知+)では、学習端末トラブルが続発。1人1台端末の活用・進行状況の課題検証等を含めた説明を。

A 各学校で「いつでもちょこっと使う」端末活用をしている。今後実践事例集を作成し、端末の有効活用に努める。児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育指導の指針として育成プログラムを作成。ネットモラル教材を全校に導入し、各学校で活用の推進を図る。

柏清風

はまだちかこ
浜田 智香子



子どもへのワクチン接種

Q 子ども・保護者へメリット・デメリットを理解してもらうためにホームページ等でもしっかり発信すべきでは。

A 接種券とともに保護者向けの説明書を同封している。ホームページやSNSでも情報発信に努めていく。

こども食堂(知+)

Q 近隣センターを利用しているこども食堂について、国からの通知でも運営に格別の配慮を、という通知も来ている。行政としてもう一歩踏み込んだ支援をしていただきたいがどうか。

A こども食堂の認知度が広く浸透してきており、その重要性や必要性を感じている。使用料の減免や優先予約になるかどうかと考えているが、年度内をめどにスピーディーに実現できればと考えている。

ひとり親家庭支援

Q 本市独自の制度である高等職業訓練促進資金貸付について。現在、看護師・准看護師・介護福祉士・保育士の4資格を対象としているが、その時代のニーズに

即した支援が必要であることから見直ししていくことを提案するがどうか。

A 対象者が将来にわたり安定した収入を得られる支援となるよう市独自の貸付制度の対象資格の見直しを検討していく。

児童生徒のタブレット端末活用

Q 学校外、特に自宅での活用状況の把握はどうか。

A 活用時間・使い方・健康への影響について保護者の方の御心配があることは認識している。今後適切な運用のためにも3年度末に児童生徒・教職員・保護者からのアンケートを実施し、広く御意見を伺う機会を設けるよう検討していく。

医療的ケア児の通園

Q 4年度からの受入れ体制の運用変更と、看護師の確保についてはどうか。

A 従前は医療的ケアの観点から受入れを判断してきたが、今後は様々な状態等に依りて判断していく。4年度に新たに正規の看護師の採用を行い、訪問看護の利用も検討していく。

柏清風

ふくもと あい
福元 愛



若者等への横断的支援と地域支え合い

Q 青年期～壮年期の支援は十分か。

A 十分でなく抜け落ちていて考える。

Q 若者や現役世代に対する分野横断的な連携と支援が必要だが、本市の状況は。

A 4年度から重層的支援体制整備事業の創設を検討しており、各専門相談機関がスクラムを組み、複雑化・複合化した課題の解決に向けた伴走支援を行う。

Q 本市独自の現役世代を含む多世代向け地域包括システムを構築してはどうか。

A 福祉の総合相談窓口でのアプローチやラコルタ柏の多世代交流企画等を通じ、緩やかな見守りと地域づくりを推進する。

ごみ出し困難者支援、地域のたすけあい/家庭系ごみ削減への取組

Q 環境部のごみ出し困難者支援と、保健福祉部のたすけあいサービスの理想的なすみ分けとは。全般を把握しているか。

A 社会福祉協議会や関係部署と協議、調整、制度設計を行ってきたが、事業開始後はそれぞれが独立して進めてきた。今後は情報交換の機会を設け、支援の充実に努める。

Q 市民の関心と意識向上のため、じんかい収集車にデザイン性を持たせては。

A ごみや収集車に対するイメージ向上にもつながり有効なため、検討したい。

小学校高学年の英語の教科化

Q 中学英語への円滑な接続には英語教育の小中連携が重要だが、本市の現状は。

A 指導内容の理解や小学校から中学校への学びのつながり等、教員が見識を深める機会を今後は増やす必要がある。研修や相互の授業参観等を促進していく。

国際交流(姉妹友好都市、周年事業)

Q 4年度以降迎える姉妹友好都市関連の周年事業をどのような展望で進めるか。

A 市の国際交流事業は、現在指定管理者であるNPO法人柏市国際交流協会と市が連携し実施してきた。今後も、2者が両輪となり各種事業に取り組む。

浸水被害への対応(みどり台・大青田)

Q 機能不全である土水路からの流出により浸水被害が発生しているが、対策は。

A 現況を調査し、本来の流下能力を発揮できるように水路のしゅんせつ等を行う。

柏清風

あびるよしあき
阿比留 義顯



上下水道の統合

Q 上下水道局の統合によって何がどのように効率化されるのか。

A 両事業を通じた1人の管理者の下で予算編成や決算処理、消費税の計算、申告

などの企業会計のノウハウを組織内で共有し、事務の効率化を図るとともに、入札や予算執行等での迅速な意思決定や一体性のある事業計画の作成が可能となる。利用者サービスの面で料金収納や給排水



産業廃棄物処理事業振興財団

平成4年に厚生省、全国知事会、日本経済団体連合会などによって設立された財団法人。国、地方公共団体、産業界からの基金をもとに処理事業者や排出事業者に対して様々な支援を行い、産業廃棄物の適正処理や資源循環に努めている

GIGAスクール構想

文部科学省が推進しているもので、児童生徒向けに1人1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たちの個性に合わせて、資質・能力を一層確実に育成できる教育環境を実現することを目指す取組



こども食堂

地域住民等で構成される民間団体等の取組として、無料または安価で食事や温かな団らんを提供する場所のこと。家庭における共食が難しい子供たちに対し、共食の機会を提供している



手続等の窓口サービスの一元化、広報や啓発活動の一元化が可能になるほか、緊急時や災害時には両事業で人員を相互補完し、より迅速な対応も可能にするなど、危機管理体制の強化につなげる。

Q河川排水課と下水道部門が分離するが、災害対応の指揮命令系統はどうなるのか。

A災害対策本部が設置されれば市長の指揮の下に対応するが、それに至らない場合は土木部長の指揮の下、総務部防災安全課と調整を図りながら対応する。上下水道統合後も現在の体制を維持する。

Q上下水道局下水道各課と土木部河川排水課との業務のすみ分けはどうなるのか。

A下水道部門は污水管や雨水管の整備と維持管理を担い、河川部門は公共下水道以外の河川や水路、地域排水管の整備と

維持管理、雨水貯留浸透施設の整備、開発行為等における雨水流出抑制指導を担う。

防犯ボックス【知+事業】

Qこれまでの活動状況、今後の市の取組について。

A平成27年11月に酒井根二丁目に開設されたが、今年度末に閉所するとの方針が示された。これまで防犯ボランティアの方々と合同パトロール、近隣小中学校児童生徒の下校時の見守りなどを実施し、また合同パトロール3か所の防犯活動上のアドバイスなどを行い、防犯活動の担い手の育成に取り組んでいる。今後は青色回転灯パトロール車両での巡回や広報活動、市職員との合同パトロールや防犯診断などにより引き続き自主防犯活動のさらなる促進、支援に努める。

文化行政について

Qコロナ禍の文化芸術活動への影響実態把握について問う。

A文化活動の在り方は文化施策を検討する上で非常に重要であると考えており、その歩みを止めることのないように取組

を進めていきたいと思う。

Q高齢化や安全対策として、高低差のある舞台ステージに登る階段と手すりの設置を研究していただきたい。

Aどのような形態が効果的か、研究していく。

公明党

こまつ さちこ
小松 さちこ



市立柏病院現地建て替えについて

Q市長は、施政方針の中で現地で建て替えを進めていくとあるが、どのようなスケジュールで早期の建て替えを進めていくのか。

A施政方針で表明したとおり、現地で建て替えを進めていく。基本計画、その後、建物の配置や間取り等の概要を定める基本設計、建物の素材や構造等を定める実施設計、その後、工事の入札、発注の手続きを行い、工事に着工となる。病院を運営しながら行うほか、敷地は広いものの空地が少ないなど建築上の課題がある。利用者にとってよりよい医療環境が提供できるよう取組を進める。

新型コロナ感染症対応について

Q8か月を待たずに3回目のワクチン接種を実施する考えはあるのか。

A追加接種の前倒しについては今後ブレークスルー感染【知+】を防ぐ観点からも必要であると考えている。ワクチン供給の範囲内で優先度を見据えながら、8か月を待たずにできる限り6か月に前倒しを考えている。

北柏駅北口土地区画整理事業について

Q北柏駅北口駅前の約1.4haの区域にできる商業施設と子育て関連機能の施設事業者は、令和4年3月上旬には決定することであるが、将来構想についてはどうか。また、北柏駅のバリアフリー化、

南北自由通路等の今後は。

A商業施設においては、1,000㎡以上の食料品売場と日常生活に必要な店舗を併設することを条件としている。子育て関連施設においては公共性の高い施設であることや先進性を要求している。令和4年2月にプレゼンテーション審査を実施し、令和4年3月には事業者を決定する予定。7年度中にオープンする予定。南北自由通路整備事業では、新たな北口駅前へのエレベーターなどのバリアフリー化を図り、整備完了後は24時間南北の通行が可能となる。



北柏駅北口に広がる民間施設建設予定地

通学路の安全対策について

Q国道16号、西部消防署前の交差点を通過して通学している松葉第一小学校の児童およそ190名がとて危険な通学路で通っているが、安全対策は。

Aこのたびの御指摘を踏まえ、学校などの意見を交えた上で、歩道の一部を着色するなど児童が安全に通行できる対策を協議の上、実施していく。

公明党

つかもと りゅうたろう
塚本 竜太郎



がん検診率の向上

Q国立がん研究センターの発表によると、2020年は新規がん患者が減少しており、この背景には新型コロナウイルスの感染リスクを避けるための受診控えや緊急事態宣言によるがん検診の中止または延期が影響していると思われる。2020年の本市のがん検診率の増減をお示しいただくとともに、検診率を向上させるため、ワンコインがん検診、約500円のがん検診を実施してはどうか。

A胃がん検診は10.7%から8.0%、大腸がん検診は14.7%から13.3%、乳がん検診は35.2%から30.4%にいずれも減少している。現在、市民税非課税世帯と70歳以上の胃内視鏡検査を除く受診者について、自己負担なしで受診できるようにしている。がん検診は国等の補助が少ないため、直ちに全てのがん検診の自己負担を500円とすることは困難であるが、ほかの事業とのバランスを考慮しながら、自己負担の在り方を考えていきたい。

酒井根五差路の信号機設置

Q酒井根五差路、民間バス会社車庫前の

交差点は、酒井根・中原の防犯ボックス【知+】のセーフティアドバイザーが、南部地域で一番危険な交差点と指摘しており、先輩議員も長年信号機設置に取り組んでこられている。信号機設置に向けての現在の進捗状況はどうか。

A2年度に物件補償・用地取得の契約を取り交わし、3年度末までには土地の引渡しを受ける予定である。来年度に交差点の改良工事を行い、供用開始は令和5年3月末を予定している。

南部地域の課題

Q今回当選された太田市長は、南部地域出身の初めての市長である。小中学校を南部地域で過ごされた経験を踏まえて、南部地域の課題と、その課題をどのように解決していきたいと考えているか。



市内南部地域の航空写真

柏清風

ふるかわ たかふみ
古川 隆史



新型コロナウイルス感染症対策

Q後遺症について、せき、嗅覚・味覚障害、倦怠感などが報告されているが、市内の現状をどのように把握しているのか。また相談窓口はどのような形で設置されているのか。

A後遺症は医学的に十分解明されておらず、対症療法等による処方箋が主となる。そのため症状を和らげる薬剤等を使用しながら、呼吸器内科や精神科、神経内科など、専門医が連携しながら対応せざるを得ない状況【知+】と聞いている。現在市保健所において、罹患後の症状の受診相談センターにおいて相談を受け付けているが、他疾患との鑑別や症状の緩和のため、医療機関への受診を勧めている。後遺症に関する研修会等の機会を利用し相談に対応する職員のスキルアップを図っていく。

成年後見制度【知+】

Q高齢化の進行に伴い大きな課題になっているが、手続が裁判所で行われることから、自治体で制度利用者等を把握できないという課題がある。本市における制

度利用者数、そして今後利用者増加が見込まれる中でどのような対応をしていくのかについて聞きたい。

A本市における成年後見制度の利用者は609人となっている。制度を安心して利用でき、広く普及するために主に3点の取組を進めている。1点目として相談、啓発を通じた制度の普及を行っている。令和3年6月より社会福祉協議会のかしわ福祉権利擁護センターに成年後見制度利用促進のための中核機関機能を委託し制度の普及に努めている。2点目として費用負担軽減の取組として、市では独自に低所得者を対象とした成年後見人等報酬費助成制度を設けている。同様の制度を近隣市でも運用しているが基準額や助成の条件が異なることから、今後国や近隣自治体の動向を注視しながら制度検討を進める。3点目は今後の利用者増加に対応するために、市民後見人の養成も含めた受け手の確保について、かしわ福祉権利擁護センターを中心に専門家の団体や関係機関と連携体制の充実を図っていく。

柏清風

やまだ かずひと
山田 一



まちづくりについて

Q表玄関、柏駅前再開発について問う。

A特にそごう柏店跡地は東口駅前の魅力創出につながる重要な場所であると考えており、今後の利活用に関する方針決定は周辺の土地利用にも大きな影響を及ぼすことから、引き続き地権者との意見交換などを通して早期の方針決定と商業中心の再活用に向けた働きかけを行っていく。また柏駅西口北地区市街地再開発準備組合が地権者の意向を踏まえ区域設定と施設計画案の再検討に着手したことから、市としては準備組合に対し、しっかりと検討を重ねるよう働きかけるとともに、駅前の課題解決や魅力、価値向上に資する計画になっているか確認していく。

Q駅周辺の整備だけでなく、柏駅から市役所、市民文化会館、ウェルネス柏等公共施設をつなぐ路線バス交通手段を問う。

A本庁舎の周りでは道路が狭いことがネックになっていた。今ラコルタ柏と図

書館本館の間の道路の拡幅工を進めていて、バスが通るといような条件もそろいつつあるので、バス事業者への意向確認なども考えていく。



拡幅工事を終えた図書館本館前の道路

こども行政について

Q負の連鎖が続かないように、本市独自の手当、例えば児童手当の低所得子育て世帯への加算などを考えてみては。

A児童手当に仮に月額1万円を上乗せした場合、約4億6,700万円の予算が必要となる。御提案の内容については、他の施策との整合性や優先順位を踏まえながら調査研究をしていく。



防犯ボックス

地域の防犯力強化の取組として「セーフティアドバイザー」と呼ばれる警察官OBが常駐している施設。地域住民との合同パトロールや通学路・夜道の見守り活動などを行っている



成年後見制度

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な方に対し、法的に権限を与えられた成年後見人等が、本人に代わって福祉サービスの利用契約や適切な財産管理を行うことで、その方の生活を支援する制度

ブレークスルー感染

ブレークスルーとは「通り抜ける」という意味で、ワクチンの効果を通り抜けて感染してしまうことを指す。新型コロナワクチンの場合は、2回目の接種から約2週間後十分な免疫の獲得が期待されるので、それ以降に感染した場合にブレークスルー感染と呼ばれている

A南部地域は、本市でも早くから市街化が進み小規模開発が多いため、狭隘で入り組んだ道路が多い。通学路の安全対策を含め、道路環境の充実が南部地域の大きな課題であると認識している。また、

路線バス等の公共交通網も充実しておらず、市内でも高齢化率が30.3%と高く、交通インフラの充実も課題である。さらに、体感治安の向上に向けて、警察署2署化も、要望してまいりたい。

公明党

なかしま たかし
中島 俊



公共交通空白不便地域について

Q2022年度は、高齢者に配慮した交通環境構築への具体化方針を示す区切りの年と位置づけられている。現在の状況と今後の工程について伺う。

Aこれまで4町会にヒアリング調査を行った。布施地域にある利根町会からは買物のための移動手段の申入れがあり、町会、交通事業者、市の三者で協議し、町会主体による既存タクシーを活用した新たな移動手段の実証実験に至っている。来年度以降は、調査結果を基に地域へのヒアリング、課題把握へと進めていく。

Qより早く、スピード感をもって進めていただきたい。また、市長はコミュニティバスの導入を公約に挙げていたが、既存の交通機関以外に、新たな設備投資を前提とした構想とするのか。

A既存交通網と共存をしていくことは必要だ。大事なことは、どのような形で路線網を組めるか、どのような形で市民のニーズに応えるかだ。まずは、その調査研究から行いたい。

市長の施政方針について

Q駅前送迎保育ステーション、子供の図書館や広場、コロナ対策そして、市立病院の再編、学校給食、柏駅前のにぎわいについては、西口北地区再開発だけでなく、旧そごう跡の今後についても注目が集まっている。これら重点課題に対して、選択と集中を持って市政運営を行うとの

ことだが、市長の見解を伺う。

A学校給食のことを言えば、センター方式をやめた場合には、約221億円増額になるという試算だが、財政面からの合理性を考える行政と、給食の教育面から考える市民の目線、このどちらの視点に立った運営が一番良いのかを考えるつもりだ。最終的には、どのような形で自校式を維持できるかを判断したい。これ以外にも様々な課題を抱えている中で、柏市民にとって何が一番良いことかを重視して選択と集中、そして、優先順位をつけて市民に喜んでもらえる市政運営を行いたい。

道の駅しようなんについて

Q駐車場を調整池と一緒にするこの計画について、安全対策は大丈夫なのか。

A利用者に対し周知と注意喚起を行う。安全管理マニュアルを作成し、台風等豪雨予報時には、場内放送や駐車制限といった事前対策を講じ、施設内巡回の徹底といった安全対策を行う。



新設棟がオープンした道の駅しようなん周辺

日本共産党

やざわ ひでお
矢澤 英雄



新型コロナ対策

Q感染拡大を抑えるための無料PCR検査実施を求めるがどうか。

A検査を希望する人に対し、抗原検査キットを活用した検査体制の拡充を考えている。

学校給食について

Q市長は施政方針で、自校方式を守ると表明したが、どのように進めるのか。

A食育が重要であり、子供たちにとって作り手が見え、給食が身近に感じられる自校方式を維持することが望ましい。学校別の詳細な調査、分析を行い、自校方式の維持について再検証する。施設改修や更新においても可能な限り給食は止めないようにする。

地球温暖化対策について

Q温暖化による気候危機の現状を深刻に受け止め、本市として気候非常事態宣言を発することを求めるがどうか。

A温暖化の深刻さを大変懸念している。気候非常事態宣言を行うことは、地球温暖化に対する危機意識を多くの市民と共有でき、温暖化対策の促進や異常気象への備えに対し効果があるので、早い時期に宣言の表明をしたい。

Q再生可能エネルギーの地産地消が大切。市長公約の沼南地域での新電力会社設立はどのように進めるのか。

A地域循環型社会、再生可能エネルギー主体のまちづくりを進めるため、実施に向け関係部署で検討する。

日本共産党

むとう みつえ
武藤 美津江



ジェンダー平等

Q本市で初めての女性市長として、太田市長にはジェンダー平等の柏市を目指して取り組んでいただきたい。本市でも独自で男女共同参画条例を制定してはどう

か。

A既に条例施行している自治体の調査研究を行い、条例制定に向けて進めていく。

Qパートナーシップ制度^{知+}を導入する必要があるが、どうか。

A多様な性を尊重し、誰もが暮らしやすいまちづくりを推進するため、導入自治体におけるパートナーシップ宣誓証明書の交付などを注視しながら、制度導入を進めていく。

Q本市の執行部で壇上が上がっているのは、こども部長だけである。ぜひ、女性の幹部職員も増やしてほしいがどうか。

A前向きに女性幹部の人たち、そして女性の職員が働きやすい環境をつくっていく。

日本共産党

くさか こ
日下 みや子



核兵器禁止条約

Q日本政府の核兵器禁止条約と締約国会議へのオブザーバー参加に対する市長の見解を伺う。

A唯一の戦争被爆国として核軍縮を前進させる取組は参加を目指すべきであり、令和3年3月議会で採択されたオブザーバー参加を求める要請は、市単独で国へ要請書の提出を行っていく。

市役所のデジタル化

Q自治体の情報システムは、国の標準仕様への適合が義務づけられる。自治体独自の助成制度などは維持できるのか。

A国は標準化システムと独自システムの連携も想定している。独自システムを引き続き利用しサービスの維持を図る。

公共交通の充実

Qコミュニティバス、シルバーパス^{知+}、駅から市役所への足の確保を求めらる。

A住みやすいまちを目指し、移動しやすい交通ネットワークの実現に向けて、市長のマニフェストの実現に向け考える。シルバーパスは本市に合った方法を模索する。駅から市役所への交通も検討する。

国民健康保険料について

Qコロナ禍の苦境の下で、国保料の引き下げや本市独自の子供の均等割額^{知+}の軽減を行って、市民を応援すべきではないか。

A4年度は厳しい財政運営が求められ、保険料率の引上げは避けて通れない。子供の均等割額の市独自の軽減策は慎重な対応、判断が必要である。

日本共産党

ひらの こういち
平野 光一



コミバスは福祉・経済振興策として

Qコミバスは高齢者のお出かけ支援策、地域経済振興策と位置づけるべきでは。

A単なる交通政策ではなく、福祉的な面や経済面についても好循環を目指す。しっかり担当部署と協議を重ねていく。

多子世帯の給食費の軽減

Q学校給食費の無償化に向け、段階的にでも実現すべきではないか。

A貧困家庭へのさらなる支援が必要。義務教育機関に在籍する3人目以降を対象とした場合でも年間5,000万円必要となるが、前向きに検討する。

市独自の奨学金制度創設

Q市長選挙で打ち出した給付制奨学金制度を、最初は十分でなくても早く始めることを求めたいがどうか。

A制度設計に向けた調査研究に着手するよう教育委員会に要請した。教育委員会と意見交換を重ね支援の規模や財源確保も含め持続可能な制度の構築を目指していく。

滞納は市民からのSOS

Q市長が目指す「困っている市民に手を差し伸べる政治」を、滞納問題と生活再建への支援でどう取り組むか。

A滞納がある方は何らかの困ったことを抱えている場合が多い。気軽に相談できる環境づくり、市に連絡すれば助けてもらえると感じていただける情報発信に力を注ぐ。負担能力の乏しい方々には福祉部署と連携を図り生活再建につながるよう、めり張りある対応に努める。

日本共産党

わたべ かずこ
渡部 和子



市立柏病院の建て替え

Q市立柏病院については市長から現地建て替えを進めると答弁があった。公立病院としての役割や意義をもっと市民に説明すべきではないか。



市立柏病院

A今後建て替えを進めていく上で、市民に市立病院を知ってもらうことは大変重要であると考えている。

保育園待機児童解消

Q保育の質の確保のためにも、公立保育園は公立のまま堅持すべきではないか。

A公立園は建設後40年経過している園が大半。保育のあり方検討懇談会の結果を踏まえて今後の整備方針を定める。

Q公立保育園を整備する場合、国から地方交付税で措置されるのではないか。

A交付税の中で算定される。

Q懇談会では、公立園の整備は全額市の



パートナーシップ制度

事実婚や性的少数者のカップルに対し、婚姻に相当する関係と自治体が認め、証明書等を発行する制度



シルバーパス

高齢者の社会参加促進や福祉の増進を目的とした福祉乗車証のこと。東京都では、満70歳以上の都民の方が、指定のバス・電車を自由に乗り降りできる「東京都シルバーパス」を発行している



均等割額(国民健康保険)

国民健康保険に加入した場合に、世帯の加入数に応じてかかるもの。例えば、世帯主、扶養家族として配偶者と子供1人の世帯であれば合計3人分の均等割額がかかることになる



負担だと説明されている。これでは誤解を招くのではないか。

A 今後は追加の資料を出したい。

子ども医療費助成

Q 県内では54市町村の内、既に23自治体が18歳まで医療費を助成している。市長の公約だがいつから実現するのか。

A 現物給付^{知+}が最良だと考える。千葉県や柏市医師会と調整し実現に尽力する。

地域の諸問題

Q みどり台二丁目隣接の水路が機能するよう、緊急の対策を求めるがどうか。

A 機能が損なわれている部分をまず改善し、浸水被害の解消に努める。

万kwhに対して、太陽光発電設備による総発電量は約42万kwh。再エネ率は

1.0%となっている。

みらい民主かしわ

おかだ ちか
岡田 智佳



新型コロナウイルス感染症対策

Q 市長が目指す「市民の暮らしと命を第一に考えた市政運営」は、コロナ対策の中にどのように反映させていくのか。

A 第6波に向け、自宅療養者をできるだけ少なくし、入院、治療等必要な医療が受けられるよう対策を講じていく。

Q 1、2回目のワクチン接種については、市民から厳しい意見が寄せられた。3回目接種についての市長の方針は。

A 安心、迅速、身近の3つの視点による接種体制を目指していく。

Q 事業者支援について、市長の考えは。

A 国・県の支援との兼ね合いや皆様の意見を伺いながら、支援策の検討を行う。

市立柏病院の位置づけ

Q 市長が考える市立病院は。

A 現在の診療を継続して行い、また、小児科医療の充実を図っていきたい。

運転免許証の返納と支援措置

Q 市長が政策提言の中で掲げたコミュニティバスとシルバーパス^{知+}の導入を、早期に実現してほしいが。

A 今後議論を重ねて実現に向け考えていく。

時代に即した消防団の在り方

Q 消防操法大会は、負担が大きい、任意参加としてほしいといった意見を伺う。次の世代が、積極的に関わりたいと思う新たな形を検討してほしいが。

A 在り方については、その都度検討していかねければ、と考えている。



消防団消防操法大会の様子

市民サイド・ネット

まつもと ひろみち
松本 寛道



市立病院の現地建て替え

Q 市立病院はこれまで建て替えないままにされてきたが、市長が無条件現地建て替えを表明したことは素晴らしい。どのような問題認識だったのか。

A 市民の命と暮らしを守ることを最優先に取り組んでいくため、老朽化した市立病院の無条件建て替えを表明した。

Q 建て替えるからにはより良い病院にすべきだ。厚木市立病院は狭い敷地でも何とか現地建て替えを実現したが、他市の事例をどのように検討しているのか。

A 関東近郊では実際に現地に見に行つて情報収集を進めている。

学校給食のセンター方式化の中止

Q 市長が学校給食の自校方式維持を表明

したことは歓迎する。温かくおいしい自校方式の学校給食の利点は何か。

A 自校方式は喫食時間に合わせて調理ができることや学校に栄養士がいるため教職員と連携が取りやすい。

布施南地区のデータセンター開発問題

Q 千葉市では住環境を守るために住宅地に近い区域は20mに高さが制限されている。本市は不十分ではないか。

A 道路から壁面までの距離を5m以上として周辺環境への配慮をした。

Q 千葉市では住宅地側が高台にあり、さらに調整池と公園が配置されている。千葉市の現地を確認したのか。

A 現地の確認はしていない。2段階の高さ規制は本市と類似している。

市民サイド・ネット

はやし さえこ
林 紗絵子



コロナワクチン未接種者への差別禁止

Q 11月末時点、コロナで1万8,000人が亡くなったが、若い世代は少ない。10代は3人で、うち2人は重度の基礎疾患を持ち、もう一人は事故死だ。一方11月26日までにワクチン接種後の死亡は1,388件報告されている。10代の死亡報告事例は5人、重篤な副反応報告は300人ほどだった。子どもはコロナに感染した際のリスクより、ワクチン接種リスクの方が高いと考え、接種させない判断をすることも当然だ。接種の強要や差別、行動制限はあってはならない。未接種者への差別禁止条例を制定した自治体も複数あるが、本市はどうか。

A 先進市の条例の趣旨を研究し、その趣

旨に基づいた周知を徹底する。

Q 差別や同調圧力を生むおそれがある接種勧奨リーフレットが学校で配付されたことについての見解を求めます。

A 接種検討の参考になればと考えた。

Q 学校への配付物について、人権侵害の観点から審査する体制が必要ではないか。

A 接種勧奨ではないと判断し配付した。

子どものマスク着用

Q 厚労省やWHOは5歳以下の子どものマスク着用は危険であり必要ないとして、市立保育園や乳幼児預かり施設では着用させていない。しかしマスクを強制する私立の幼稚園等があり、退園者が出ている。働きかけが必要ではないか。

A 各園に随時情報提供する。

無所属

きたむら かずゆき
北村 和之



広報かしわ、選挙公報等の全戸配布

Q 現在、広報かしわ、選挙公報、議会だよりなどは主に新聞購読世帯への折り込みにより6~7割にしか届いておらず、市民の命に関わるワクチン情報、防災・福祉情報など、メッセージや情報が届きにくい状態に危機意識がある。

広報かしわ等の全戸配布の重要性・必要性に鑑み、実施を要望するが市長の考えはどうか。

A 現在広報紙の配布は新聞折り込みによって行っているが、新聞購読者が減少傾向にある。より多くの市民に手に取っていただくためには、ポスティングによる全戸配布は広報かしわ及び選挙公報の配布率向上に有効な手段の一つであると

考えている。全地域への安定的配布や事業の継続性などの課題や解決方法を見極めながら実施に向けて具体的に検討していく。

無所属

かみはし いずみ
上橋 泉



市立病院建て替えと病床稼働率^{知+}について

Q 東京都医師会の猪口副会長が、急性期病院の病床稼働率はコロナ以前でも78%が目安であったと紙上で語っていた。市立病院事業検討専門分科会が設定した建て替え条件である病床稼働率80%という数字は、秋山前市長が病床稼働率が80%に達することは絶対ないということを承知して、専門分科会の委員に働きかけをしたものではないの

か。太田市長はこの辺を見抜かれて、経営改善の取組を建て替えの条件とはしない

と施政方針で述べられたのか。
A 病床利用率の条件設定については、建て替えに関わる収支見込みのシミュレーションを行った上で示されたものと認識している。しかし、コロナウイルスで平時ではない対応が迫られていることなどから、病床利用率の達成は建て替えの条件とはしないことを表明した。

無所属

うちだ ひろき
内田 博紀



市長の政治姿勢について

Q 福島第一原発の爆発によって被災した本市としては、東海第二原発の再稼働に反対を表明するべきではないか。

A 私（市長）は、福島第一原子力発電所事故を間近で体験した者として、また柏市民が原発事故の影響を受けて苦しむ姿を見た者として、原発事故の深刻さは重々承知しており、東海第二原子力発電所についても再稼働しないことが望まし

いとん思いがある。

Q 憲法第9条^{知+}の歴史的役割をどう認識しているか。

A 9条は、戦後日本の平和維持において大きな役割を担い、悲惨な戦争を二度と起こしてはならないという反省の下、その精神的な支柱となったと考える。

Q 公務員の憲法擁護義務を求めます。

A 公務員は憲法第99条^{知+}に基づき憲法を遵守するべきものと考えている。

みらい民主かしわ

すずき せいじょう
鈴木 清丞



GIGAスクール用タブレットの入札

Q 必要であると指摘してきた教員用タブレットの購入が決まったことは大いに評価するが、入札はどうであったか。

A 1者のみ入札で、落札率は昨年度の75.96%から92.5%になり、1台当たりの単価は昨年度の5万3,000円から6万9,000円になった。



新型コロナウイルス宿泊療養事業

Q 宿泊療養者の1日当たりの人数は、9月が15人、10月が5人、11月が0.3人だが、1月~3月の宿泊療養者の想定

人数は何人か。

A 90人を想定している。

Q 10月は、8,800万円支払っているが、療養者が10月並みの1日5人程度の場合は満額の何%の支払いになるか。

A 8割または6割補償となる。

Q 警備費用の1日44万円は必要か。

A 出入口が3か所あり、10人で24時間体制で警備するため44万円となっている。

Q 業務管理費が全体金額の15%で3,600万円となっているが必要か。

A 受託会社の収益、もうけとなるので、必要経費と認識している。

地球温暖化対策

Q 本市公共施設の電気の再エネ率は。

A 全448施設中、太陽光発電設備の設置が19施設。総電気使用量は約4,000



現物給付(子ども医療費助成)

受給者が医療機関の窓口で保険診療の一部負担金から自治体の助成額を差し引いた額を支払うことで医療を受けられる方式

病床稼働率

運用病床数に対し、患者がどのくらいの割合で入院していたかを示す指標。病床稼働率が高いことは、ベッドを効率的に運用していることを表す



憲法第9条

①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

憲法第99条

天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

令和2年度
決算

議会が注目 した事業を ピックアップ

令和2年度決算の認定を求める各議案が令和3年9月定例会に提出され継続審査となっていました。決算審査特別委員会では、予算実行のための財源が適正に確保されたかどうか、また、効率的な予算の執行で成果を上げたのかどうかを審査しました。

市の決算は多岐にわたるため、決算審査特別委員会では、各常任委員会所管分ごと（総務、市民環境、教育民生、建設経済）に審査を行い、現地視察、総括審査、報告書の取りまとめを経て、採決をしました。ここでは、各委員会所管ごとの審査において質疑の多かった事業を取り上げます。

犯罪を起こさせない人づくり (組織づくり) 事業 (客引き等対策事業)

総務

決算額 2,978万円

柏駅周辺におけるしつこい客引きや勧誘などの迷惑行為対策として、平成29年6月23日に「柏市客引き行為等禁止等条例」を施行し、客引き等の禁止など重点的に広報啓発を実施しました。また、平成30年4月1日より警察官OBを任用し、さらなる行政指導の強化を図るとともに、条例を遵守する飲食店等に「客引きしない! 宣言店」ステッカー等を交付し、積極的な支援を行いました。



条例を周知する横断幕

【こんな質疑がありました】

Q 決算額が前年度と比べ減少となった理由として「業務内容の見直し」とあるが、その内容は。
A 客引き状況を勘案し、活動曜日を特に客引きが多く確認さ

れる木曜日から土曜日の3日間とした。また、警察OBによる客引き等対策指導員を増員し、これまで行われていた委託警備の穴を埋める形で機動的に動く体制を構築した。

環境美化推進事業

市民環境

(ぼい捨て等防止事業、不法投棄防止事業等)

決算額 2,955万円

地域の良好な環境の維持のため、ぼい捨て等防止事業、不法投棄防止事業、美化サポーター活動推進事業、地域清掃推進事業等を行い、不法投棄が多発する北部地域や旧沼南地域においては、パトロールや不法投棄防止看板、防止カメラの設置などの取組を実施しました。



防止カメラの設置を知らせる看板

【こんな質疑がありました】

Q 防止カメラの設置について、どのように評価しているか。
A 防止カメラが設置されることにより、不法投棄通報件数が減少し一定の抑止効

果があると考えている。今後も防止カメラや看板の設置、パトロールの実施により、引き続き土地所有者や警察等の関係機関と連携をしながら対策を講じていく。

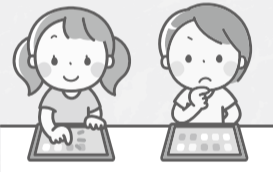


教育振興関係事業

教育民生

決算額 23億6,764万円

GIGAスクール構想を踏まえ、小中学校63校に1人1台のタブレット端末を導入しました。



【購入した端末の内訳】

端末の機種	画面(インチ)	台数
iPad(小学校1・2年生)	10.2	7,112
Chromebook(小学校3~6年生)	11.6	14,758
Chromebook(中学校1~3年生)	(タッチパネル対応)	10,111

【こんな質疑がありました】

Q 端末に不具合が生じた場合の対応は誰が行うのか。また、故障時等の代替機や担任用の端末の配備状況は。
A 端末の不具合時の対応は、

各学校の情報担当者あるいは教頭を通して教育委員会に連絡が入り対応している。代替機及び担任用の端末については、令和3年12月に備品購入を予定している。

交通安全啓発指導事業

建設経済

決算額 170万円

春・夏・秋・冬の交通安全運動をはじめ、各種交通安全啓発活動を実施しました。

また、小学生・中学生・高齢者・幼児の保護者等に対し交通安全教室を実施し、実施後に交通安全法規等のチラシを配付しました。



【こんな質疑がありました】

Q 交通安全啓発指導及び交通安全教室の内容と成果は。
A 近年の交通事故発生状況等を踏まえ、子供及び高齢者の交通事故防止と自転車の安全利用の促進に重点を

置き、交通安全に関する教育及び普及啓発活動に取り組んだ。その成果は示しかねるが、近年、本市における交通事故発生件数は減少傾向にある。今後も交通事故防止対策を推進していく。

現地視察 「道の駅しょうなん」再整備事業

平成30年度から拡張工事を進めていた「道の駅しょうなん」の新設棟について、工事の執行等が適切に行われたかどうかを審査するために、決算審査特別委員会の委員で現地視察を行いました。当日は、執行部職員から事業内容の説明を受けた後、疑問をただしながら施設内を調査しました。

新設棟外観



農産物直売所内観



決算審査の経過

10/25	総務委員会所管分審査	11/17	現地視察 (道の駅しょうなん)
10/27	市民環境委員会所管分審査		総括審査
11/ 1	教育民生委員会所管分審査	11/24	報告書の取りまとめ 採決
11/ 4	建設経済委員会所管分審査		



決算審査特別委員会

委員長 小松 幸子 副委員長 阿比留義顯
委員 岡田 智佳/小川百合子/桜田慎太郎/佐藤 浩
中島 俊/福元 愛/松本 寛道/村越 誠
矢澤 英雄/渡部 和子



決算審査報告書

市長へ送付した「決算審査報告書」の内容は市議会ホームページを御覧ください。

Photo de Plus

これまで、市議会では、様々な事項について議論してきました。今回は、これまでに市議会で可決された議案の中から2項目について、どのように取り組まれているのか追跡し、現在の状況をお知らせします。

公設市場敷地内に立体駐車場が建設されました！

令和2年6月定例会

青果部門の荷さばき所不足及び駐車場不足を解消するため、市場整備計画に基づき公設市場敷地内に関係者用の立体駐車場を建設する工事の議案が、令和2年6月定例会で可決され、令和3年3月に竣工しました。



正面からの外観 (285台が駐車可能)



広々とした屋上



屋上へ続く3階



1階。青果の荷さばき所となっている。



壁面を一部緑化するなど、景観に配慮した庁舎



非常用発電機。災害時の拠点としての機能が維持できる。



バリアフリートイレ。誰もが安心して来庁できるユニバーサルデザインを採用している。



平成31年3月定例会

水道部庁舎の再整備工事が実施されました！

平成31年3月定例会で水道部庁舎再整備事業の予算が可決されました。旧庁舎は築後約40年が経過し、耐震診断で「耐震化が必要」との結果が出ていました。また、設備等の老朽化の進行、バリアフリー・ユニバーサルデザインの未導入、災害対策拠点機能や応援事業体受入れスペースの設置、防災用資機材倉庫の不足などについても、抜本的な対策が必要な状況でした。



太陽光発電設備。屋上と壁面に備えられている。



防災用資機材倉庫の一部



屋上の緑化。室温の上昇を抑え、空調機器の負荷を低減している。

新型コロナウイルス感染症対策

12月議会では、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、議会運営における感染拡大防止策を一部見直しました。傍聴の入場上限者数は、前回までの28席から38席に拡大しました。また、議場において、市長から提出された議案の提案説明及び委員長報告を再開しました。今後も、感染状況に応じた感染拡大防止策に御理解と御協力をお願い申し上げます。



3月定例会の日程をお知らせします

※予定が変更となる場合があります。あらかじめ御了承ください。

開会 2/25(金) (議案の提案) → 閉会 3/22(火) (採決)

3/3(木) 4(金) 7(月) 8(火) 9(水) 10(木) 11(金) 14(月) 質疑並びに一般質問 (本会議)

3/15(火) 16(水) 常任委員会
15日…総務・市民環境 16日…教育民生・建設経済